

大ー・テクノ

適用範囲		モデル名		DCP-35SL-C	DCP-35SL-B	DCP-35SL	DCP-30G	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	35	35	30
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.6	1.6	1.5
			ブーム最大地上高	m	14	14	14	14.5
		適用号機		いすゞ46000～ 日野45000～	いすゞ43000～ 日野44000～	41001～	72001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
			ロータ回転数	回/min	34	34	34	30
		かくはん装置	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
	(作動油温度)		(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	真空ポンプ		回転速度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5	60±5
		チェーンのたわみ	mm	(40±5 H22.12～) 15	(40±5 H22.12～) 15	(40±5 H22.12～) 15	60±5 15	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	
	真空ポンプ	(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
		圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
				Vベルトのたわみ	mm	—	—	—
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (3) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
			ブーム (4) シリンダ	mm	2	2	2	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
			(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び縮み	sec	—	—	—	—
sec				—	—	—	—	
ブーム (2) 伸び縮み				sec	—	—	—	—
				sec	—	—	—	—
ブーム (3) 伸び縮み				sec	—	—	—	—
				sec	—	—	—	—
ブーム (4) 伸び縮み			sec	—	—	—	—	
			sec	—	—	—	—	
			ブーム (5) 伸び縮み	sec	—	—	—	—
				sec	—	—	—	—
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)		
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1]			
	洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
油圧 水圧 飛距離			MPa m	0.125 —	0.125 —	0.125 —	0.125 —	
空圧機		吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)	
(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)			
	(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)		

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

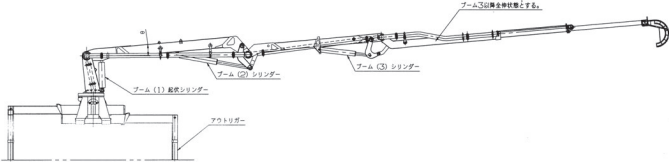
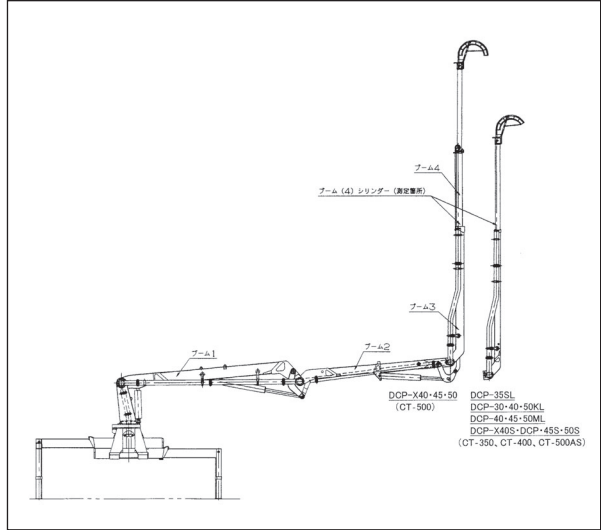
コンクリートポンプ車

DCP-30KL	DCP-40G	DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
30	40	40	40	40	40	45	45
1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
17	14.5	17	17	18.5	17	17	18.5
73001～	82001～	83001～	84000～	84100～	86001～	32000～	32040～
検 査 基 準 値							
—	—	—	—	—	—	—	—
30	37	37	37	37	37	38	38
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5	60±5
15	15	15	15	(40±5 H22.12～)	(40±5 H22.12～)	15	(40±5 H22.12～)
15	15	15	15	15	15	15	15
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
2	—	2	2	2	2	2	2
—	—	—	—	—	—	—	—
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]	[図 No. 1, 2]
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
—	—	—	—	—	—	—	—
0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125	0.125
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)

適 用 範 囲		モ デ ル 名		DCP-35SL-C	DCP-35SL-B	DCP-35SL	DCP-30G
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	35	35	30
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	1.6	1.6	1.5
			アーム最大地上高	m	14	14	14.5
		適 用 号 機		いすゞ46000～ 日野45000～	いすゞ43000～ 日野44000～	41001～	72001～
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)		単 位	検 査 基 準 値		
油 圧 装 置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧		MPa	20	20	20
		弁シリンダ油圧		MPa	—	—	—
		かくはんモータ油圧		MPa	7	7	7
		プ ー ム 油 圧		MPa	20	20	18.5
		ACC ガス封入圧力		MPa	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)
車 体 ・ 装 置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締め付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク		N・m	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6
		旋回ボルトの交換基準		年	注 1	注 1	注 1
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度		sec	—	—	—
		(旋回作動角度)		(度)	(—)	(—)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)		(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)
		(作 動 油 温 度)		(℃)	(—)	(—)	(—)
	☆ アウトリガー	各垂直シリンダ		mm	1	1	1
		(測 定 時 間) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]	(10) [図 No. 3]
特 記 事 項					注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は外輪、 内輪とも全数交換する。		

☆印：新車基準値を表す (参考値)。

DCP-30KL	DCP-40G	DCP-40KL	DCP-40ML	DCP-X40	DCP-X40S	DCP-45ML	DCP-X45
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
30	40	40	40	40	40	45	45
1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7
17	14.5	17	17	18.5	17	17	18.5
73001～	82001～	83001～	84000～	84100～	86001～	32000～	32040～
検 査 基 準 値							
20	21	21	21	23	23	24.5	24.5
—	—	—	—	—	—	—	—
7	7	7	7	7	7	7	7
20	18.5	20	20	20	20	20	20
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	485.5～534.5	436～485	436～485	485.5～534.5	436～485
343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	343.4～382.6	436～485	436～485	343.4～382.6	436～485
注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1	注 1
—	—	—	—	—	—	—	—
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
注 1) 旋回ベアリング取付ボルトの中で 1 本でも緩み (新車 基準トルク以下)、折損、脱落、がある場合は 外輪、内輪とも全数交換する。							

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダー ー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから10分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)シリンダーロッド縮み量を測定する（ブームシリンダー(4)はブーム縮み量を測定） 注意：シリンダーロッド（ブーム）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－1 ブームシリンダー(1)～(3)の測定条件 (1)ブームは全伸長とする。 (2)起伏角度が 2° ～5° とする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。
		
	図－2 ブームシリンダー(4)の測定条件 (1)ブーム 4 は全伸長とする。 (2)ブーム 3 角度を垂直にする。 (3)ブーム方向は車輪後方とする。 (4)油温は 50° ±5 とする。	
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガーシリンダー 自然降下	(1)測定条件にセット後エンジンを停止して各操作レバーを操作してアクチュエーターの圧抜きを行う。 (2)圧抜きから5分経過後、測定を開始する。指定測定条件にて10分間保持する。 (3)ジャッキシリンダー（縦箱）の縮小量を測定する。 注意：シリンダーロッド（縦箱）にマーカで目印をつけて、寸法を測定する。この際シリンダーロッドを傷つけないように、十分に注意すること。	図－3 アウトリガーシリンダーの測定条件 (1)ブームは走行姿勢とする。 (2)各アウトリガーを最大に張り出す。 (3)作動油温度は 50° ±5° とする。
	